

長なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和5年 4月28日
第3号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）



風薫る5月へ

木々の緑が美しく、色とりどりに咲く花が心を和ませてくれます。4月10日の始業式・入学式で1学期のスタートを切りましたが、もう4月が終わり5月に入ります。

子供たちは、新しいクラスにも慣れ、元気に遊び、落ち着いて学習等に取り組んでおります。大型連休を前に、心もワクワクしているのではないのでしょうか。新型コロナウイルスや交通事故等に十分留意の上、連休を過ごしていただきますようお願い申し上げます。5月を元気いっぱいにご過ごしてほしいと思っています。

子供たちに 育みたい「3心」

目指す学校像 夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校を実現していくために、子供たちには、右図にあります「3心」を意識しながら生活してほしいと思っています。

『自分に負けるな』

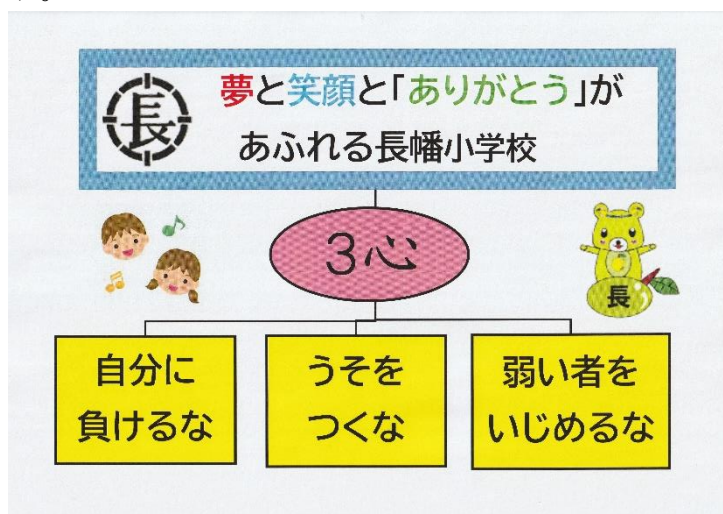
楽をしたい、休みたい、ずるをしたい、ごまかしたい、そういう気持ちになることは誰にでもあると思います。そういう気持ちにいつも負けていたのでは、人間的な成長はありません。楽をしたい等の気持ちに負けないでがんばる力(忍耐力や克己心など)を育てていきたいと考えております。

『うそをつくな』

うそをついたことがないという人はいないでしょう。悪いことをしてしまったり、間違ってしまったときなど、言い訳をしたり、うそをついてごまかしたくなるものです。そんなときに、平気でうそをつくような子供たちにはしたくないと思っています。悪かったことや間違ったことを素直に認めて、謝ることができる子供たちに育てたいものです。

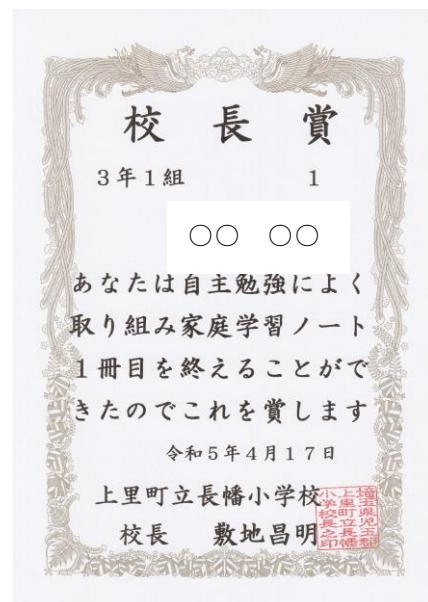
『弱い者をいじめるな』

弱い者をいじめることは、とても卑劣で卑怯なことです。人間として恥ずかしいことです。弱い者をいじめるのではなく、力になってあげられる強く・優しい心、思いやりの心を育てていきたいと思っています。



学力向上 【校長賞】

学力向上には、学校における授業の質的向上が求められるわけですが、家庭学習を充実したものにしていけることで、学力向上をより確かなものにしていけることができると考えております。そこで、家庭学習ノートが1冊終わるごとに「校長賞」の賞状（右）を授与することにしました。家庭学習の定着は、小学校はもとより、中学・高校等でも求められる重要な習慣の一つとなります。子供たちの実態に応じて、あまり負担とならない程度で取り組んでいければと思いますので、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



【本のある環境】 本校の学校教育目標：「進んで学ぶ子」

の目指す児童像の一つとして、『本をたくさん読む子』を掲げています。生涯にわたって読書に親しめる人になってほしい、その土台づくりを小学校でできればと思います。そのためには、読書ができる時間を確保するとか、読みたい本が身近になるとか、できるだけ周りから強制されるのではなく、子供から「読んでみようかな」という気持ちにさせる環境整備が大切かと思います。読み聞かせであるとか、親子読書であるとか、様々な方法も考えられます。



近年、「子供たちの語彙が不足している」という声も耳にします。語彙の不足が読解力の低下につながっているとの指摘もあります。読書をとおして語彙を増やすこともできるでしょう。分からない言葉に出合ったときに、すぐに国語辞典で調べることができるように、茶の間等に国語辞典があるとよいのではないのでしょうか。（スマホ等で調べるのではなく）

6つのふれあい（自然・人・本・家族・地域・本物）



アグリパーク見学（2年）



上里分署見学（3年）



カントリーエレベーター見学（4年）



長久保公園で遊ぶ（1年）



火起こし体験（6年）



「先生ありがとう」離任式